

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「構成市町内の合計観光客入込数」について、目標を達成していないものの、「認定外国人観光案内所の外国人客の利用者数」及び「日本遺産構成文化遺産松島の入込み数」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「児童の「地域の歴史や文化を誇りに思う」の割合」について、目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「実行委員会構成または連携協力事業者（団体）数」について、概ね目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「ストーリーを紹介できるガイドの養成数」及び「日本遺産ロゴマークの使用許可数」について、概ね目標を達成している。</li> </ul>
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 地域DMOと連携した人材の掘り起し、日本遺産関連商品の開発支援による法人パートナーの拡大など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 日本遺産ブランドや地域コンセプトの長期的な浸透を図るために各行政計画の中に位置付けているほか、観光関係事業者へ日本遺産活用の方向性を共有する研修会の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 認定地域を俯瞰してコンサルティングする地域プロデューサーが存在しているほか、ガイド養成講座の実施によりガイド育成を図っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 多言語による解説板や日本遺産ストーリーを伝えるガイダンス施設の整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 日本遺産関連商品の開発、旅行会社による周遊ツアーの実施、DMOと連携した体験コンテンツの造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 地域プレーヤーとなる住民向けの出前講座の実施、小中学生向けの学習教材の配布といった取組のほか、民間主導のイベントが複数回開催されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 多言語対応した公式ホームページの開設など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「伊達ブランド」による総合的な観光事業を展開する内容となっている点が評価できる。</li> <li>■ これまでの広報活動の問題点を組織的に改善する取組について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 「豪華絢爛で斬新」等の日本遺産ストーリーをどのように個別のプログラムに落とし込み、来訪者等へ提供するかについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 民間事業者や地域の学校等と連携する体制が整えられており、各取組の主体が明確となっている点が評価できる。</li> <li>■ 広範囲な実施体制を支える地域住民の巻き込み強化のため、ストーリーの理解度を上昇させるための取組について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 自立・自走化や構成文化財の保存と活用の好循環の創出に関する取組について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビジョン実現に向けた、取組内容や組織整備などについて、丁寧に計画している点が評価できる。</li> <li>■ ストーリー展開に沿った文化資源の見せ方・いかし方などについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していないものの、「庄内地域の外国人旅行者受入数」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、順調に増加し、2019年度の実績が認定時と比較して約3倍に増加しており、概ね目標を達成していると言える。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合」（小学校6年生及び中学校3年生）について、目標を達成していない。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本遺産のPR協力事業者数」について、目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協力団体との関係が整理されているほか、日本遺産事業と観光施策との連携や、自主財源の確保に向けたふるさと納税の立ち上げ、二つのDMOによる相互連携など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 二つのDMOとの連携によるコンセプト設定やマーケティング調査を活用した事業展開、商品開発のほか、日本遺産の長期計画への位置付けなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域プロデューサーの育成、ガイド人材の育成のほか、円滑な事業実施のための事業推進コーディネーターの設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構成文化財の解説・案内板の設置、ストーリーを伝える日本遺産情報ブースの設置、多言語対応の公式ポータルサイトの制作など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 民間主導での体験プログラムの造成のほか、ガイドの提供、特産品や土産品の開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本遺産に係る学習や課外活動の実施、副読本の作成、親子向けの啓発活動や地域住民に向けた研修の実施、教育旅行プログラムの開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HPでストーリーやモデルコース、体験プログラム等の情報を発信しているほか、マーケティング調査に基づいたSNS発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビジョンが、来訪者・地域住民・民間事業者の複数の視点から日本遺産を捉えたものとなっている点が評価できる。</li> <li>■ ビジョンの実現に向けた課題や取組が明確となっており、さらに、課題解決に向けた取組を官民一体となった事業計画として立案している点が評価できる。</li> <li>■ 可視化が難しいテーマのストーリーの体験を提供できるガイド育成や体験プログラムを充実させる内容となっている点が評価できる。</li> <li>■ ストーリー体験を提供するための具体的な観光ルート整備が計画されている点が評価できる。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域DMOを核とした民間活力の導入や、大学・企業の産学連携の強化が図られる内容となっている点が評価できる。</li> <li>■ 関連自治体、民間事業者、DMO、神社、地域プレイヤー等が参画し、事業実施体制が明確に構築できている。また、それぞれの役割や連携内容が明確になっている。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「精神文化」をいかした観光という方向性の明確化、ビジョン実現のための具体的な施策の方向性が示されている点が評価できる。</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<p>認定継続（重点支援地域）</p>

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「会津17市町村観光入込数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前においても、目標を達成していると言えない。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域住民へのアンケート結果「地域の文化に愛着を感じる」の割合」について、概ね目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本遺産に関する旅行商品やコンテンツ造成、インセンティブ等」について、目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「極上の会津プロジェクト協議会」として「日本遺産事業部」を設立し、構成自治体17市町村のほかDMOや交通事業者等、幅広い事業者との連携強化を図るなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知度の把握やアンケート実施など戦略策定の土台となる取組のほか、平成29(2017)年度策定の会津若松市総合計画において、歴史的・文化的な資源・資産の活用と「仏都会津」を主要テーマとした広域観光の推進を位置付けるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度以降、「日本遺産会津地域観光アドバイザー」の認定制度により47名を育成し、定期的に研修を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内看板の設置、多言語対応説明板の設置、日本遺産関連の旅行商品造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産関連の旅行商品造成のほか、民間事業者によるツアー催行に対する支援を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民などを対象にした講習会の開催、小中高校生を対象とした出前講座において日本遺産に関する説明を実施し、地域、民間を巻き込む普及啓発や児童生徒向けの普及啓発を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産に関するホームページの開設や多言語化など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>



	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの活動に基づき事業を継続していく内容となっている。</li> <li>■ 「仏都会津」をコンセプトに知る、守る、活用する取組を基本としているが、施策としては抽象的であるため、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 構成17市間のストーリーのつながりをより明確に訴求すべく、統一感の醸成等、構成文化財を活用した取組の更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施体制としては継続的な仕組みとなっており、安定的な基盤がある点が評価できる。</li> <li>■ ツーリズム形態の変化を踏まえた、外国人、個人客等への対応などの事業手法の確立が課題であり、マーケティングの徹底による顧客ターゲット層の分析を実施する体制強化が望ましい。</li> <li>■ DMO、宿泊事業者、交通事業者といった民間団体が連携した実施体制になっている点は評価できるが、より多く、より主体的な民間事業者の巻き込みによる地域への経済効果拡大について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 実施体制の総合的な監督責任を明確にするため、強いリーダーシップを発揮できる人材を起用または育成するなど、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 地域住民への普及啓発や、学校への出前講座など、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計画全体としては評価できるが、自立・自走するための仕組みの構築や、会津の町の周遊と日本遺産のストーリーとが相乗効果を生み出すための方策等、これまでの取組を踏まえた発展的な取組の更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 個人をベースとする新たなツーリズム形態に合わせた戦略と事業再編、同時に域内周遊促進のための仕組みや工夫（二次交通・情報拠点整備等）の更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「開成館の入館者数」について、一部目標を達成していないものの、「郡山市及び猪苗代町の観光入込客数」及び「郡山市及び猪苗代町のインバウンド宿泊者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地域に愛着を持ち、住み続けたいと思う住民の割合」について、目標を達成したものの、「日本遺産の知名度及び認定ストーリーの認知度」及び「事業者による日本遺産の魅力を発信するイベントの開催数」については目標を達成しておらず、全体として目標を達成したとは言えない。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本遺産の活動による寄付及び広告料収入の上昇率」について、一部目標を達成していないものの、「販売書籍等の制作件数」については、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 一本の水路ブランド認証団体を繋ぐネットワークの構築により、関係団体との連携が図られており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 観光戦略策定のためのエリア来訪者に関する調査分析の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 大学連携を積極的に進め、学生ガイドの活用と育成を図っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 市内の有力な観光資源・施設に日本遺産のVRシステムを設置するなど、ストーリーを体験する設備や機能の整備を図っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ ストーリーを体験するコンテンツの造成、周遊ルートの開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 市民や広域圏住民、在住外国人を対象にツアー等が実施され、地域人材の発掘とともに、日本遺産ストーリーを感じる仕組みづくりを行っているほか、学校を通じた普及啓発に取り組んでいるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 整備したウェブページのPV数等の数値分析を行い、定期的にコンテンツやページの更新を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の特性を踏まえた上で、日本遺産の魅力を伝えるための工夫が具体的に検討されている点が評価できる。</li> <li>■ 今後の事業展開の方向性が明確となっている点が評価できる。</li> <li>■ 教育体験型ワークショップについて、学校やJICA等との連携により行われる点が評価できる。</li> <li>■ 日本遺産のビジョン及びそれを実現するための構成文化財を活用方策について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 観光事業化の視点が弱く、疎水を活用したツアー開催等、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関係団体との連携について具体的な役割分担が考えられ、ボトムアップで新たなアイデアを生み出すために、組織を新設している点が評価できる。</li> <li>■ 核となるのが一本の水路であり、その活用に向けて顧客から見た価値や面白さは何かといった点について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 事業の発展や協議会の自走に向けた運営体制や、安定的な事業費の確保について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 実施体制における総合的な監督責任は誰が担うのかについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 組織体制を新たにすることで、取組内容も見直そうとしている点が評価できる。</li> <li>■ 協議会の運営にあたって、マネジメントの手法については、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、各指標について概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 目標として設定した「千葉県の世界遺産調査において、県の魅力を「歴史的な町並み・史跡・旧跡」を挙げた人の割合」について、目標を達成していない。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「外部団体からの賛助件数」について目標を達成していないものの、「日本遺産への協力団体数」及び「構成4市での商品開発合計数」について目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政主体での協議会発足後、4市それぞれの観光協会や商工会議所など複数の民間事業者を参画させ官民連携の体制を構築しているほか、観光協会や商工会議所等を通じて地域の民間事業者と連携して今後の自走化を地域において支える方向性が見えているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の観光分野における活用推進を明確にした千葉県文化財保存活用大綱を令和2年度に策定し、さらに構成4市においても地域住民の参画を得ながら文化財保存活用地域計画の作成に着手しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイド育成のための実習やガイドマニュアルの作成、研修ツアーの実施、多言語対応など、基礎的な取組が行われ、各市において多くのガイドが育成されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語案内看板、多言語パンフレット、構成文化財における多目的トイレの設置等の確認はできたものの、音声ガイドの導入を検討する等改善の余地が残っている。</li> <li>各4市単位で構成文化財における整備を行っているが、協働事業が実施されていない。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>4市を巡る周遊ツアーの実施、インバウンド向け宿泊ツアーの造成、ガイドの提供など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産に関連する民間主導のイベントが複数行われているほか、千葉県全域の小学校に対し校外学習の誘致を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産のストーリーを伝える動画を多言語で作成し、海外のSNSで発信するなど、インバウンド向けPRが行われているほか、高速バスのラッピングや銚子電鉄の車両広告など、立地を活かしながら民間事業者と協力して情報発信を行っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地域移住」への関心の高まりや「モノ・コト消費」の発展形である「トキ・イミ消費」など現代のニーズを捉えながら具体的な戦略を立てていることができています。</li> <li>■ 5つのエリア×4つの志向性に鑑みてターゲットを選定するだけでなく、各層の関係性も踏まえた戦略策定と取組の方向性を策定していることが評価できる。</li> <li>■ サブストーリーの発掘、ガイドや体験の受付窓口となる拠点整備、古民家ホテルと連携したワーケーション対応など、観光事業の強化に取り組む計画として発展的な内容となっている。</li> <li>■ 好循環を目指す計画を策定できているが、より具体的な目標額を設定するなど、可視化し、モニタリングすることができる状態とすることが望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの振り返りから課題を明確化し、①普及啓発・学校連携 ②情報発信・広報活動 ③観光事業・民間連携の3つのワーキンググループを組織し、各施策を加速させる体制が整備されることになっている。また、それぞれのグループにおいて責任団体や連携する内容、具体的な事業まで細かく設定されていることが評価できる。</li> <li>■ 課題となっている民間事業者の巻き込みについて、民間事業者との連携の強化や人材育成についても具体的な計画が立てられている。</li> <li>■ 4市の商工会議所や観光協会通じた事業浸透は計画されているが、民間企業が日本遺産を活用し、地域活性化が図られる仕組みについても構築することが望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3つのワーキンググループを組織化し、それぞれについて旅行事業者や飲食・物販事業者、イベント事業者などの民間事業者を巻き込む計画が立てられており、これまでの課題に対処する内容となっている。</li> <li>■ 今後、各事業を担うプレイヤーを明確にしていくことが望ましい。</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「伊勢原市の入込客数」については目標を達成していないものの、「観光客の消費額」については新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「市立小・中学生における日本遺産の認知度」については目標を達成していないものの、「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」については目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本遺産基金の創設による調達資金額」については、日本遺産基金の創設が中止となったため目標を達成していないものの、「地元業者による日本遺産関連商品作成数」については目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一部目標値に達していない指標が存在したものの、全体としては概ね目標を達成している。</li> </ul>



II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会を中心として、文化財や観光の各団体と丹沢大山の広域的な組織の計22団体で構成された組織の運営や、交通事業者や民間事業者を巻き込んだ取組が行われているほか、収益事業も実施できており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産の認知度が一定程度あるほか、「大山まちなみ継承地区景観重点地区」の指定及び文化財保存活用地域計画や景観計画での日本遺産の位置付け等による日本遺産のまちとしてブランディングを図る取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域プロデューサーをはじめ一定数の人材が育成されているほか、ガイド育成やスキルアップを図るための講座の実施や観光案内所の開設によるボランティア育成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成文化財に係る案内・解説板の設置、多言語対応など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大山詣り」に関する商品開発、レインツーリズムとしての雨天時の体験プログラムの造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿坊体験型教育旅行の造成や構成文化財をテーマにした講演会の実施、大山能親子教室等を実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>新東名高速道路のICの開通に合わせたPRやホームページを活用したPRなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 継続的な取組であり、これまでの課題、事業実績に基づいた計画となっている点が評価できる。</li> <li>■ 宿坊体験などの体験プログラムの増加などにより、「信仰」だけではなく、「行楽」の魅力を増加させるビジョンとなっている。</li> <li>■ 「信仰と行楽の地」というコンセプトは良いが、その具体的な将来像が抽象的となっているため、詳細な工夫を検討することが望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内の公共交通事業者を中心に据えたり、文化財保護への配慮などがなされた運営体制は評価できる。</li> <li>■ 交通事業者との連携だけでなく、新たな観光事業者や旅行事業者へのアプローチを行いながら、プロデューサーの創出にも取り組もうとしている点が評価できる。</li> <li>■ 現在の組織体制に加えて、外部からも知見を持つ人を組み込むなど、体制強化を図ることが望ましい。</li> <li>■ 販売収入の1%を文化財の保護・周知に還元する仕組みが、実効性の高い制度として定着できるよう更に取り組んでいくことが望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「大山詣り」のストーリーに沿って、宿坊の現代的活用や新たな商品開発など、3年間で取り組むべき方向性が計画されている。</li> <li>■ 自立・自走に向けた体制整備や財源確保等の工夫・検討を行うことが望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「石の文化拠点施設への来館者数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「アンケート調査により石の文化に誇りを感じると回答した住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「石の文化関連商品を新たに開発」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「構成文化財などを解説するガイド実働人数」について、概ね目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 里山や石切り場エリアで民間や地域活性化団体が積極的に活動を進めていることや、以前は別々に活動していた団体等を中心に「こまつKUTANI未来のカタチ」実行委員会を立ち上げていることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ 「石の文化」について、ブランディングとメディア戦略、さらには産業文化再生に向かうという一貫性が確認できるほか、「石の文化レガシー認定制度」により日本遺産事業の活動の幅を広げる取組が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 「小松ものづくり未来塾」の発足と地域事業者の育成・組織化など、一般的なガイドに留まらない地域事業者の育成を進めていることや、プロジェクトリーダーやガイド人材が一定程度存在していることなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 「こまつまるごとストーンミュージアム」として各地域拠点にガイダンス機能をもった施設や人材を配置しているほか、訪問者の満足度も高く、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 着地型観光商品の磨き上げを図っているほか、GEMBAプロジェクトとして地元の産業と観光を接続させているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 小学校への出前教室の実施や、地元団体によるガイドサービスの運営、金沢大学と連携した学術調査等の取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ 日本遺産関係のランディングページの整備やアーティストインレジデンス、文化財の個性をいかした芸術団体との協力等の取組を進めており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。

	評価理由
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「石の文化」を主目的とした文化観光を展開するため、「文化」「自然」「ものづくり」を体感できる地域にすることや、モノづくり産業の需要拡大など、ビジョンが明確であり、その実現に向けて、地域・領域毎に取り組む内容が具体的に設定されている点が評価できる。</li> <li>■ 石の文化は、それぞれの時代、地域の生業を支えてきた産業文化でもある。セラミックラボラトリー（九谷焼）や地域の多様な産業の創業と再生を試みる「GEMBA PROJECT」などの取組が評価できる。</li> <li>■ 広大な地域の最大の難点である二次交通対策も、地域MaaS小松計画の始動が期待できる。</li> <li>■ ビジョンに対応して意欲的な目標設定がなされている。2024年の新幹線開業も見据えた日本遺産に係るガイダンス拠点の整備、九谷焼の絵付け体験・物販の強化、予約・決済システムの強化等に取り組む計画となっており、3年間で取り組む事業について、明確な方向性が示されている点が評価できる。</li> <li>■ 「石」を前面に出す個性的なイメージ創りと体験と結びつけた産業観光への取り組み方が根付いている点が評価できる。</li> </ul>
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 組織体制から業務分掌まで具体的に記載され、自走に向けた取組も明記されている点が評価できる。</li> <li>■ 地域おこし企業人や大学、商工会議所など、行政以外の視点も取り入れながらプロジェクトを推進できる体制が整えられている点が評価できる。</li> <li>■ 多種多様な官民一体の実施体制や、総合プロデューサーや地域プレーヤーの育成、学校教育との連携の方向性等が評価できる。</li> <li>■ 協議会の構成員が民間主体で、行政がその外で連携している実施体制であることや、地域団体の立ち位置、役割分担も明確である点が評価できる。</li> </ul>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題も明確になっており、その克服を進めるとともに、日本遺産のモデル構築に向けて発展が期待できる。</li> <li>■ 地域文化戦略と産業創造戦略が連携した、新しい日本遺産モデルと言える点が評価できる。</li> </ul>
評価結果	認定継続（重点支援地域）

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「構成市町村内の観光入込客数」について、目標を達成していないものの、「木曽路を歩く外国人旅行者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「アンケート調査の「地域に誇りを持てる」の割合」について、概ね目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「域内市町村の体験プログラム数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「ガイド活動件数」について、目標を達成していない。</li> </ul>
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	■ 協議会の会員である木曽観光連盟が民間事業者やDMOを巻き込み体験型コンテンツやツアー作成等を行っているほか、協議会においても商工会の会員企業を中心に日本遺産活用部会を立ち上げるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可	■ マーケティング調査の実施やそれに基づく取組の検討など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可	■ 各市町村の保存団体等がそれぞれガイドの育成に取り組んでいるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	■ 各構成文化財においてインバウンドに向けた多言語案内板等が設置されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	■ 森林サービス産業と連携したストーリーの体験コンテンツが提供されているほか、木曽エリアの滞在時間を増やすため、多様なニーズに合わせた9つのモデルルートが設定されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可	■ 地域住民を対象として「日本遺産の日」に構成文化財を無料公開する取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	■ HP等の情報発信媒体の定期的な更新が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可	■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 民間事業者と連携したガイドコンテンツ等のエリア全体での予約システムの構築、日本遺産の体験プログラムの商品化など、3年間で取り組む方向性が明確となっている点が評価できる。</li> <li>■ 「山を守り山に生きる」というストーリーに基づき、木曾での暮らしを体験するための、施策の体系及び事業について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 構成文化財の活用に留まらず、日本遺産の活用に向けた取組について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 持続可能な協議会体制の構築に向けて、活用検討部会を立ち上げるなど、組織体制の改善を図ろうとしている点が評価できる。</li> <li>■ 自走するための民間事業者の巻き込みなど体制整備をどのように構築するかについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 地域住民が主体となる体制について、日本遺産の活動への住民の自発的参加や組織化の手法について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの取組を継続・発展させる事業が計画されている点が評価できる。取組内容を定期的に振り返りながら、地域ならではの新たな施策を実施していくことが望ましい。</li> <li>■ 協議会として、事業を推進するにあたって持続可能な体制整備が求められ、自立・自走化に向けた組織運営について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------



## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「観光客入込み数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「「文化財や伝統文化が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合」について、目標を達成していない。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「協議会の自立化における協議会事業費の民間事業割合」について、目標を達成していない。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「観光客入込み数」について、概ね目標を達成したものの、「「文化財や伝統文化が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合」及び「協議会の自立化における協議会事業費の民間事業割合」について目標を達成しておらず、全体として目標を達成しているとは言えない。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>食・産業・観光・伝統・町並等の分野で活動する多種多様な団体と連携するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行政計画（高山市第八次総合計画、第3期高山市教育振興基本計画、高山市産業振興計画、高山市SDGs未来都市計画）の中で、日本遺産の位置付けを明確に示しているとともに、外部アドバイザーとの連携をしながらPDCAを回す仕組みが整備されており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイドに加えて地域限定通訳案内士を確保し、育成に向けて研修や情報提供を実施しているほか、定期的な接点を設け、観光客に対して日本遺産の魅力を伝える体制を構築するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>解説板の製作や周遊型コンテンツの造成のほか、日本遺産ストーリーの全体を体験できる様々な工夫・仕組み作りがなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まちの体験交流館」での体験メニュー、体験教室といったコンテンツの造成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生を対象とした教材の配布等の児童生徒を対象とした取組のほか、メディアへの発信や講演等による普及活動を行っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の認証制度による製品のPRや、SNSの定期的な更新による情報発信のほか、海外へ飛騨の匠の技術を発信するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 単なるものづくり体験ではなく、「飛騨匠」体験の高付加価値化や、ものづくりの聖地としての「飛騨高山」のブランディング向上など、ビジョン実現のために取り組む内容が明確である点が評価できる。</li> <li>■ 「飛騨匠」を体感できるようにするための実演・体験メニュー、大工体験、制作体験の提供のほか、日本遺産構成文化財を巡るウォークラリー、サイクリングラリーコースの設定などに取り組む計画となっており、明確な方向性が示されている点が評価できる。</li> <li>■ ビジョンに沿った事業を充実させるとともに、日本遺産事業の効果を可視化できるよう、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本日本遺産において重要となる伝統工芸団体との連携が図れている点が評価できる。</li> <li>■ 交通事業者や観光事業者など、知見を持った団体との協力を加速させることについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 日本遺産事業の自立・自走に向けた体制について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの取組を踏まえた自立・自走に向けての体制整備や、日本遺産ストーリーをいかした「飛騨高山」のブランド力を高めるための取組の更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「「兵庫県観光客動態調査」による入込客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「「兵庫県のゆたかさ指標」における「住んでいる地域に愛着や誇りを感じる住民の割合」」及び「イベント等における淡路島日本遺産の認知度に関する調査」について、全体として概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産に関連する商品を扱っている会社、団体等の数」及び「淡路島日本遺産関連の商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「淡路島日本遺産サポーター」が一定数いるほか、スマートフォンアプリ（RPG）を活用した収益獲得の取組を行っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットの嗜好性に関する調査の実施や、観光戦略をはじめとした自治体の長期計画への位置付けを図るなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイド育成のための講習会の実施、ストーリーの魅力を伝えるためのサポーターの養成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者がストーリーを体感できるようコンテンツの整備など基礎的な取組が行われているものの、評価指標として示された数値と日本遺産の取組との関係が確認できないなど、日本遺産の位置付けが不十分である。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成文化財である銅鐸や銅鏡の鑄造体験の提供、淡路島の食・宿泊と連携したモデルルートの作成など、基礎的な取組は行われているものの、評価指標として示された数値と日本遺産の取組との関係が確認できないなど、日本遺産の位置付けが不十分である。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任教師への日本遺産に関する研修の実施、海人をテーマとするシンポジウムの開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式ウェブサイトの開設、SNSの定期的な更新・情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの取組を継続・発展していく計画となっている点については評価できる。</li> <li>■ 「国生みの島・淡路」や「御食国」、「海人」といった日本遺産のストーリーをいかした、ビジョンや構成文化財を活用した取組について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様な視点を持った団体等と連携するとともに、自立・自走に向けた取組をしようとしている点が評価できる。</li> <li>■ 行政主体の体制から、民間事業者を巻き込みつつ、行政・民間とが一体となり、持続的な事業の実施に向けて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 取組としては特徴的であり、今後の取組の発展を期待したい。</li> <li>■ 淡路島全体の価値向上のため、「海人」の研究等を踏まえた日本遺産ストーリーの磨き上げ、ストーリーを活用した取組の更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「対象エリア内の観光客入込み数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「太地町におけるアンケート調査で、「今後も太地町に住み続けたい」と回答した住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「日本遺産ガイドとして活動する件数」について、概ね目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者が参画した組織体制になっていないなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組について十分な実施ができていない。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体の長期構想に日本遺産が位置付けられているほか、構成文化財に関する調査研究の実施やストーリーをいかした産品ブランド化について住民の理解を得られているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドのスキルアップ研修のほか、地域プロデューサー発掘や体験商品開発のためのワークショップ開催などに取り組んでおり、地域プレイヤーや地域プロデューサーが一定数存在するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅、くじらの博物館等の整備の他、一定数の案内・解説板が配置され、ストーリーに触れられる工夫がされており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>周遊ルートが複数整備されているほか、日本遺産を中心としたウォークツアーの通年実施、食文化ミュージアムや鯨類を見学できる海上遊歩道の整備、SUPなどの体験コンテンツの提供など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>くじらの博物館での学校向けプログラムの提供等により日本遺産を学習した小中高生が一定数いる他、宿泊施設と連携した民間主導のイベントが複数行われるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産関係のランディングページの整備や、SNSの定期的な更新や体験コンテンツの一元的な情報提供、地域全体で魅力的な情報発信を行うためのフォトライターの育成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができています。</li> </ul>



	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ストーリーに関連した新たな体験の充実、多言語化やキャッシュレスなど、観光地としての魅力を高める取組を進めようとしている点が評価できる。</li> <li>■ ふるさと納税による財源確保をはじめ、自立・自走化に向けた取組を進めようとしている点が評価できる。</li> <li>■ 観光の基盤となるべき地域とストーリーとの関係を、今後どのように域外、海外からの訪問者に伝えていくか、くじらの博物館の事業計画を含めて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協議会の自立・自走化、多面的な事業展開に向け、交通事業者や旅行事業者などの民間事業者、大学などの研究機関、地域の団体、地域プレーヤーとの連携も含めた活動体制の強化を掲げている点が評価できる。</li> <li>■ 協議会の自立・自走化に向け、民間事業者との連携を含め、財源の多様化を計画している点が評価できる。</li> <li>■ 行政・民間を横断する協議会の整備を検討していることは評価できるが、誰が、どのように協議会の監督責任・運営を担っていくのか、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 地域が自ら事業を創出する方策について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本遺産ストーリーを、若い層にもその魅力が伝わるように、伝え方の工夫を行ったり、今後の展開を意識した新たな体験の創設に取り組んでいる点が評価できる。</li> <li>■ 自立・自走化に向けた組織運営や事業の収益化について更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大山周辺観光入込客数」について、目標を達成しておらず、2018年の西日本豪雨及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、それ以前の目標値を達成していない点について、やむを得ない理由等が十分に示されていない。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域の歴史に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本遺産の魅力を高めるための活動に関するふるさと応援寄付額（大山町）」について、目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一定数の個人・法人パートナーが組織され、主体的な活動が行われているほか、ふるさと納税の活用も進んでいるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構成文化財の保存・活用に関する計画策定に取り組む等の基礎的な取組は行われているものの、日本遺産の寄与度が明確ではないなど、各市町の長期戦略の中での「日本遺産」の位置付けが不十分である。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ガイド養成事業により、プロのガイドが着実に増えているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ストーリーの理解を促し、周遊の起点となるガイダンス施設等の整備のほか、周遊先で各構成文化財のストーリーにおける位置付けの理解を促す案内板やQRコードの設置がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ガイダンス施設を起点に、ストーリーをいかしたツアーやアクティビティが提供されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シンポジウムやフォーラムの開催等の日本遺産について学術的・専門的に日本遺産の理解を促す機会が設けられているほか、地域住民が郷土学習としてストーリーを学ぶ機会が公民館や学校で提供されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公式HPの多言語化や定期的な更新、各種メディアへの掲載による情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本遺産×アクティビティ」、「日本遺産×SDGs」など、新たな体験と地域の歴史を接続させようとしている点が評価できる。</li> <li>■ 地域プロデューサーの役割とその育成の視点が明示されていることに加え、日本遺産事業へのふるさと納税の活用も計画されている点が評価できる。</li> <li>■ ビジョンの具体化と実現に向けて、日本遺産ストーリーや構成文化財をどうかすのかについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域プロデューサーと協議会の連携が不十分だった反省をいかし、スーパーバイザーや検討委員会を設置しようとしている点が評価できる。</li> <li>■ PDCAサイクルにおける役割分担が明確化されており、組織全体で回していこうとしている点が評価できる。</li> <li>■ これまでは全体的に行政主導であったため、行政以外の参画者を大幅に増員すると示されており、これらの戦略の更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構成4市町の基本的な連携及び取組が図られている点が評価できる。</li> <li>■ 日本遺産ストーリーに基づく構成文化財の面的な活用に焦点を当てた事業推進が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「3市町全体の観光入込客数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「3市町全体の道の駅への観光入込客数」について、目標を達成しておらず、2018年の西日本豪雨及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、それ以前の目標値を達成していない点について、やむを得ない理由等が十分に示されていない。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>「講演会等におけるアンケート調査の「たたら風土記に愛着がある」の割合」について、目標を達成しているものの、「「出雲國たたら風土記」シンボルマークをつけた商品・サービスの数」及び「日本遺産活用プロジェクトへの参画団体」については目標を達成しておらず、全体として目標を達成したとは言えない。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響といった、やむを得ない理由も確認されたものの、これらの理由が生じる以前も目標を達成していない等、全体として目標を達成していない。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税やクラウドファンディングの実施により組織の自走化に向けた取組が行われているほか、観光協会、旅行会社等によるプロジェクトチーム会議の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>3市町の「総合計画」等の長期計画で日本遺産に関する観光・地域振興の推進を掲げるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光の企画・編集・プロデュースができる人材やガイドの育成、旅行商品の開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産ガイダンス施設の整備、構成文化財の説明板の設置、多言語表記など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルルートの設定や、二次交通の整備、ガイド組織の運営、教育体験プログラムの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産の認知度が一定程度あるほか、たたら風土記を伝えるシンポジウムや展示会の実施、小学校の授業での日本遺産副読本の活用など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式サイト整備やSNSの定期的な更新、各種メディアへの掲載など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 継続的な施設整備の実施など、各取組がこれまでの事業を継続・発展させていく内容となっている点が評価できる。</li> <li>■ 点在する日本遺産を説明する施設について、ゲートウェイ機能を強化することで統一感を持って、全体のストーリーを伝わりやすくする計画となっている点が評価できる。</li> <li>■ 各取組が販売を見据えた設計となっており、販売に当たってはDMO等との連携など導線整備も意識されている点が評価できる。</li> <li>■ ガイド技術の向上やガイド予約受付体制の構築、DMOと連携したストーリー体験型観光の商品化等に発展的に取り組む計画となっている点が評価できる。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの民間事業者等に加えて、鉄師御三家や博物館等との連携強化など、ビジョン実現に向けて組織体制を改善しようとしている点が評価できる。</li> <li>■ 実施体制について、各主体の役割が明確に記載されている点が評価できる。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの取組を継続・発展させる具体的な計画である点が評価できる。</li> <li>■ たたら製鉄の魅力をさらに伝えるために、商品開発やゲートウェイ機能の強化等を行っている点が評価できる。</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<p>認定継続（重点支援地域）</p>

## 総括評価 概要

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本遺産の主要構成文化財の入込数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、概ね目標を達成しているものの、「入込観光客数」及び「観光消費額」については目標を達成しておらず、2018年の西日本豪雨、2019年の九州地方における台風・豪雨による影響及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、それ以前の目標値を達成していない点について、やむを得ない理由等が十分に示されていない。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、全体として目標を達成していないほか、継続的なデータ収集ができていない。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「協議会の自立化における協議会事業費の民間事業費割合」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響といった、やむを得ない理由も確認されたものの、これらの理由が生じる以前も目標を達成していない等、全体として目標を達成していない。また、継続的なデータ収集ができていない項目が存在する。</li> </ul>



II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業や地域団体、学術研究会、地域金融機関等の巻き込みにより、多様なプレイヤーによる組織基盤の形成されていることに加え、ふるさと納税の活用に一定程度取り組んでいるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>4市それぞれの総合計画において日本遺産の役割を位置付けていることに加え、協議会において年度単位でのPDCAサイクルを確立していることや、Webマーケティング調査による顧客データ分析の結果に基づき、ターゲット別のアプローチを行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市におけるガイド育成に加え4市間のガイド交流会の開催などにより他市のストーリー紹介といったガイドの深化に向けた工夫が見られるなど、積極的なガイド養成に取り組んでおり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>各構成文化財の理解促進を促す解説板の設置に加え、4市共通デザインの日本遺産サインの活用など、4市で統一感のあるストーリー提供の環境整備を行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市において、民間企業や地域住民との連携により、日本遺産ストーリーを活用した新たなツアー商品やグッズの販売、周遊促進に向けた新規事業開発に取り組むなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生を対象とした出前講義や、給食を活用したストーリーの体験と継承、修学旅行での4市間の相互訪問のほか、鎮守府開庁記念日での市民向けシンポジウム開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産ストーリーや各市の観光情報を提供するウェブサイトの整備、多言語でのストーリー紹介動画の作成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として概ね、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が実施できている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4市のこれまでの取組や連携実績をもとに、それぞれがガイド育成・体験コンテンツの充実・関連商品の開発、PRなどの取組を強化する計画となっている点が評価できる。</li> <li>■ 各地域それぞれが主体となる取組が4市間に相互作用を生み出す更なる仕組みの構築など、4市で日本遺産事業に取り組む強みを具体化することが望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遠隔地ながらも協議会を軸に4市で連携をとることができている。</li> <li>■ 学術機関、金融機関、DMO、観光事業者、ガイドなど民間主体も含めた多様な主体と連携する内容となっている点が評価できる。</li> <li>■ 都市間連携という役割は協議会が担いつつも、日本遺産事業としては自立・自走を目指した設計とすることが望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遠隔地の4市でのシリアル型という特徴をいかし、日本遺産ストーリーに基づく構成文化財の効果的な活用を図ることが望ましい。</li> </ul>

評価結果

認定継続

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各市の「入込観光客数」について、目標を達成しておらず、2018年の西日本豪雨及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、それ以前の目標値を達成していない点について、やむを得ない理由等が十分に示されていない。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「アンケート調査による村上海賊をはじめとした郷土・歴史・文化を誇りに思う住民の割合」について、目標を達成していないものの、「日本遺産めぐり・来場児童によるアンケート調査の村上海賊の認知度」については概ね目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本遺産の名称を利用した事業に取り組んでいる団体数」について、目標を達成していない。</li> </ul>
(4) その他	—	—
総合評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響といった、やむを得ない理由も確認されたものの、これらの理由が生じる以前も目標を達成していない等、全体として目標を達成していない。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ロゴマーク付き商品の売上の一部を自主財源として確保しているほか、体験型ツアーを提供する事業者やDMOとの連携、地域の金融機関からの支援など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域内外で日本遺産に係る認知度が一定程度あるほか、日本遺産に係る取組が両市の長期計画に位置付けられているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本遺産パートナーを養成する講座を開催し、一定数が存在しているほか、民間事業者が実施するクルーズツアーやミュージアム展示等でパートナーが活動するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 複数の日本遺産ビジターセンターが整備されているほか、ストーリーを伝える解説板の整備、多言語解説の実施がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ レンタサイクル貸し出しによって観光客の周遊エリアの拡大が図られているほか、潮流体験や村上海賊体験ツアーの実施、食コンテンツの開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 民間主導イベントでの普及啓発のほか、地域住民が村上海賊に親しめるようにする巡回展の開催、学校への出前授業やクラウドファンディングの実施といった小中高大との連携も幅広く進めているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本遺産関係のランディングページに一定数のページビューがあり、定期的に更新もされているほか、様々な視点から日本遺産ストーリーをPRしているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの取組を継続・発展させる具体的で明確な内容が示され、事業の体系化ができている点が評価できる。</li> <li>■ 歴史文化資源と地域の魅力である自然・スポーツを組み合わせた観光振興の方向性が評価できる。</li> <li>■ サブストーリー抽出に向けた調査研究、海外への情報発信、クルーズツアーの実施、DMOや地場産業と連携した体験コンテンツの造成、修学旅行誘致などの多彩な誘客プログラム、「海賊」つながりの他の地域との連携強化など発展的に取り組む計画となっている点が評価できる。</li> <li>■ マーケティング調査から得られる戦略を圏域内で積極的に企画立案、実行するための更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協議会において、構成自治体のほか、DMO、観光協会、商工会等の民間団体との連携体制が組み立てられているとともに、ブランド磨き上げ、インバウンドアプローチ、情報発信、商品開発、保全といった役割分担が明確になっている点が評価できる。</li> <li>■ 戦略立案等を行政主導で行う一方で、観光や物産はDMOや観光協会及びこれらに参画する民間事業者が担うという関係づくりが定着し、組織的にもこれまでの取組を継続・発展する内容である点が評価できる。</li> <li>■ 自走化も見据えた協議会の役割について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ブランドとして定着しているサイクリングやアウトドア系のアクティビティー、食の開発・事業を日本遺産ストーリーとどのように連携させるかについて、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------

## 総括評価

## I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「佐賀・長崎における日本遺産の認知度」について、直近の集計である2019年度は達成していないものの、「肥前窯業圏内の主要文化施設の入館者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「肥前窯業圏内におけるアンケート調査の「郷土の文化・歴史・風土などに愛着や誇りを持っている」割合」について、目標を達成している。</li> </ul>
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「「事業パートナー」制度のパートナー企業数」について、目標を達成していないものの、「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」については、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>
(4) その他	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「ガイド育成講座修了者の後年度活動者数」について、目標を達成している。</li> </ul>
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね目標を達成している。</li> </ul>

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業パートナーが一定数いるほか、民間同士での地域間の連携を促す企画提案事業を行っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期戦略である「肥前窯業圏」活性化推進総合戦略に沿って事業を遂行できているほか、定期的に事業を検証し、軌道修正しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ストーリーを説明することができるガイドが一定数いるほか、インバウンド対応の研修・講座の実施を行い、外国語で地域を案内することができる人材の育成も図られているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本遺産ストーリーを様々な視点から体感できるような文化施設の改修や、イベントに合わせたシャトルバスの運行など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 周遊を促すための取組や商品開発において公募型・民間主導でユニークな取組を実施しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 民間企業や窯元などが主導でのイベントの実施や、大学と連携した研修・プロジェクトを実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公式HPの製作・多言語化や定期的なSNSの更新など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施が概ねできている。</li> </ul>
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体として概ね、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及びこれに必要な取組の実施ができている。</li> </ul>

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ふるさと納税を活用した財源の確保や、近隣の魅力的な観光地との周遊プランの拡充など、個別の事業について具体的なプランが練られている点が評価できる。</li> <li>■ ストーリーの中心となる窯業に関わる人材育成など、日本遺産という資源をいかした地域づくりについて更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 窯元組合や観光協会などの各産地が体験コンテンツの造成や共催事業の実施を行い、協議会事務局が進行管理や後方支援等を行うといった役割分担が明確となっている点が評価できる。</li> <li>■ 将来的な協議会の自走化に向けて、自主事業やふるさと納税による収益化が企画できている点が評価できる。</li> <li>■ 民間事業者の巻き込みによる協議会の実施体制について更なる検討、具体化が望ましい。</li> <li>■ ビジョンの実現に向けた事業の全体プロデュースを担う人材について更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伝統的な技術を若い世代や海外からの観光客にも身近に感じさせる工夫が見られる点が評価できる。</li> <li>■ 日本遺産ストーリーが体感できるような伝統的建造物群への案内看板や多言語化の整備について更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>

<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>
-------------	-------------